

かすみがうら

土浦市地域

臨床教育センター開設

記念式典を開催しました

院長 鈴木 祥司

平成27年5月18日、土浦市地域臨床教育センター開設記念式典を開催しました。記念式典には国立病院機構本部より桐野高明理事長をはじめ、筑波大学附属病院の松村明病院長や土浦市の中川清市長など多くの方々にご臨席いただき、お祝いのお言葉をいただきました。

地域臨床教育センター開設記念式典



国立病院機構 桐野高明理事長

市地域臨床教育センター開設記念式典



筑波大学附属病院 松村明病院長

平成24年4月、国立大学法人筑波大学と土浦市及び独立行政法人国立病院機構の3者による、寄附講座「土浦市地域医療教育学講座」の協定に基づき、霞ヶ浦医療センターを土浦市を中心とする県南地域における地域医療と臨床研究の拠点病院と位置付けられ、当センター内に「筑波大学附属病院土浦市地域

第154号
毎月1日発行

発行所
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel 029-822-5050
Fax 029-824-0494
E-mail & Web Site
kasumi@kasumi.hosp.go.jp
http://kasumi-hosp.jp/

臨床教育ステーション」を開設し、大学教員3人を常勤配置して、教員を核とした大学と地域病院の連携による医療教育体制を整備してきました。



土浦市 中川清市長

平成27年4月、新たに大学教員2人を増員した5人体制として、さらなる地域医療の充実を図るとともに、より高度な医療サービスを提供する2次救急医療体制や質の高い教育体制を整え、超高齢化社会を迎える中で、土浦市民を含む地域住民が安心して健やかに暮らすことのできる社会の実現及び地域で活躍する医療者の養成に努めていきます。

これらの機能強化に伴い、名称もステーションから「筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター」として格上げして、開設する運びとなりました。



茨城県厚生局 五十嵐徹也病院事業管理者

国立病院機構(NHO)は、全国143病院のネットワークを活用して国の政策医療を基に、診療、臨床研究、教育研修を一体的に取り組んでいます。中でも最も重要な使命である地域医療を重視し、在宅医療を推進するための地域連携の実施、我が国の医療水準の向上に努めております。
国立大学法人筑波大学と独立行政法人国立病院機構はお互いの利点を生かして、さらなる地域医療への貢献、地域医療の指導者の育成を推進し、これからの高齢化社会に向けて地域住民の皆様が安心して健やかに暮らすことのできる社会の実現により一層努めて参ります。



土浦市医師会 川島房宜会長

最後に、この度のセンター開設に際しまして、多大なるご支援とご指導をいただきました筑波大学関係者の他、土浦市長をはじめ、土浦市議会の皆様及び関係者の皆様に心から御礼申し上げます。



くす玉割りの様子...左から、鈴木院長、桐野理事長、原医学医療系長、中川土浦市長、松村病院院長

骨密度検査を

受けましょう

骨折による寝たきり

を未然に防ぐため

整形外科

「骨粗鬆症」という言葉をご存知でしょうか。骨粗鬆症(こっしょうしょう)とは、骨の量が減り、骨が脆くなる病気です。閉経後の女性や高齢者に多く、我が国では近年の急速な高齢化に伴い、患者数は約1,300万人と推定されています。

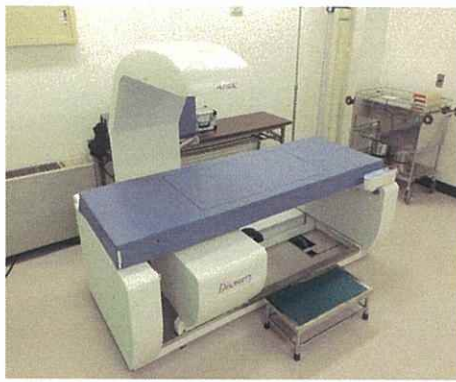
しかし、骨がもろくなるのは「老化」と考え、予防や治療を行わずに放置する場合は非常に多いとも言われています。骨粗鬆症を放置すると骨折の危険性が高まり、高齢者では骨折から寝たきりへとつながってしまうこともあります。そのため、未治療患者さんに適切な検査、治療を受けていただくこと、整形外科はもちろん、内科、産婦人科などの診療科でも骨粗鬆症の診療に取り組んでいます。

当院では平成27年4月から新たな骨密度検査機器を導入し、骨粗鬆症の早期発見、早期介入に向けて、より一層力を注いでいます。検査はDEXA法と呼ばれるもので、患者さんは検査台で横になっているだけで測定可能ですし、保健適応もあります。

測定後は、骨密度がどの程度なのか、同世代の標準量と比べてどの程度の密度なのか等、ひ

と目で分かる結果レポートをお渡しします。骨折予防のため、適切な治療を行うには適切な診断が必要です。

これからの生活を健康に送るため、まだ検査を受けたことがない方、最後に検査を受けてから1年以上経っている方は、是非この機会に検査を受けましょう。



「霞ヶ浦医療センター」 看護の日のイベント

を開催して

副看護部長 高橋勝

看護の日とは、21世紀の高齢社会を支えていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。そして、看護の日の由来は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。

私たち看護部では、看護の日にちなんで、患者や家族の皆様、そして地域の皆様に霞ヶ浦医療センターの看護の心を知っていただき、看護の知識や技術を健康増進の一助としていただきました。5月8日(金)に霞ヶ浦医療センター内において看護の日のイベントを開催いたしました。



イベントの内容としては、健康チェックコーナーとして「血圧測定」「身長・体重測定」「血糖測定」、相談コーナーとして「お薬相談」「栄養相談」「看護・介護相談」を設け、スタンプリリーを行いました。また水戸医療センター附属桜の郷看護学校から看護学生ボランティアとして1年生33名、3年生38名の参加があり、自ら企画した手浴と合唱を5階フロア行おうと共に当院のイベントにも協力して頂きました。

当日は、イベント会場が研修センター講堂ということもあり、正面玄関ではたんぼぼの会のボランティアの皆様が来院者に対してイベントの紹介をしてくださいました。そして看護学生達の協

力もあり、各コーナーの来場者は、お薬相談…11名、栄養相談…17名、血糖測定…37名、血圧測定…30名、身長・体重測定…31名、看護・介護相談…6名、手浴…21名でした。看護学生による合唱はアンコールを含め全7曲を披露してくれました。5階フロアに入りきれないほど、多くの方が来場され、楽しいひと時を皆で共有したことは学生にとっても良い体験になったと思います。患者や家族の皆様からは、「普段測れない血糖が図れてよかった」「日頃の悩みを相談できてよかった」「手浴が気持ちいい」、看護学生の合唱を聴き「癒しの時間になった」「入院してよかった」などというお言葉も頂きました。今年度は、院内開催であるた



め、地域の方々へのお知らせが十分ではなかったと思いますが、外来患者の皆様や入院患者の皆様、そしてご家族の皆様にも少しでも霞ヶ浦医療センターの看護の心を感じていただけたら幸いです。今後も霞ヶ浦医療センターという病院名と看護を知っ

てもらえるよう、そして、地元市民の皆様身近な病院として飛躍できるよう職員一同頑張つて行きたいと思えます。

「健康むすび」Vol.13

栄養管理室

今回は、5月5日こどもの日行事食イベントをご紹介します。
【常食献立】
・ちらし寿司



- ・ぶり照焼
- ・いんげん人參煮添え
- ・春雨かにかまサラダ
- ・ほうれん草ごまよごし
- ・花魁とみつばのすまし汁
- ・柏餅(かぶと折紙のメッセー)
- ・ジカード付)
- ・牛乳

カードのかぶとはパタパタ指人形風に仕上げています。配膳車のイベント装飾は、わりばしアート「こいのぼり」けっこう精巧に作れました。配膳後の感想をこんなイキナ形で表現頂きました。「ベッドまわりに大事そうにカードを置いている患者さんがいますよ」と清掃担当の方がこっそり教えて下さいました。小さな活動にすぎませんが、食事から真ごころをお伝えする表現の1つとして、これからも行事食を大切にお

<インフォメーション>

○電話予約の受付時間 (診療予約センターより)

電話番号 029-826-6471 (直通)
受付時間 平日 12時30分～16時まで

○MRI検査予約について (放射線科より)

当院では、MRI検査を土、日曜日の午後実施することができます。ご希望の方は、主治医にご相談ください。

○禁煙外来のご案内 (呼吸器科より)

受付時間 水曜日: 13:30～(完全予約制)
担当 呼吸器科医師 菊池 教大
費用 1クール通院5回 保険適応(要件有り)
3割負担で合計6,500円程度
※初診の場合(紹介状がない場合)は、別に3,240円掛かります。

ひとりおひとりへ家族を思いやる気持ちでお届けしたいと思えます。



〈公開市民講座のお知らせ〉 会場: 地域医療

研修センター講堂

日時: 6月18日 午後3時～

「心臓病と運動のお話」

〜心臓リハビリテーション〜
理学療法士 矢野 博義

〈6月集団指導のご案内〉

☆減塩教室

(第3木曜日)

午後2時～第4会議室

18日「工夫しておいしく

食べよう!減塩食」
管理栄養士

☆糖尿病教室

(第1、4金曜日)

午後3時～第4会議室

5日「簡単なお料理

紹介します」
管理栄養士

※実演は行いません

12日「糖尿病とくすり」
薬剤師

19日「糖尿病とは・・・
原因・症状

合併症など」
内科医師

注: 第3会議室で実施します

26日「日常生活について」
看護師

※予約の必要はありません。

お気軽にお越しください。